

伊都キャンパスナビ

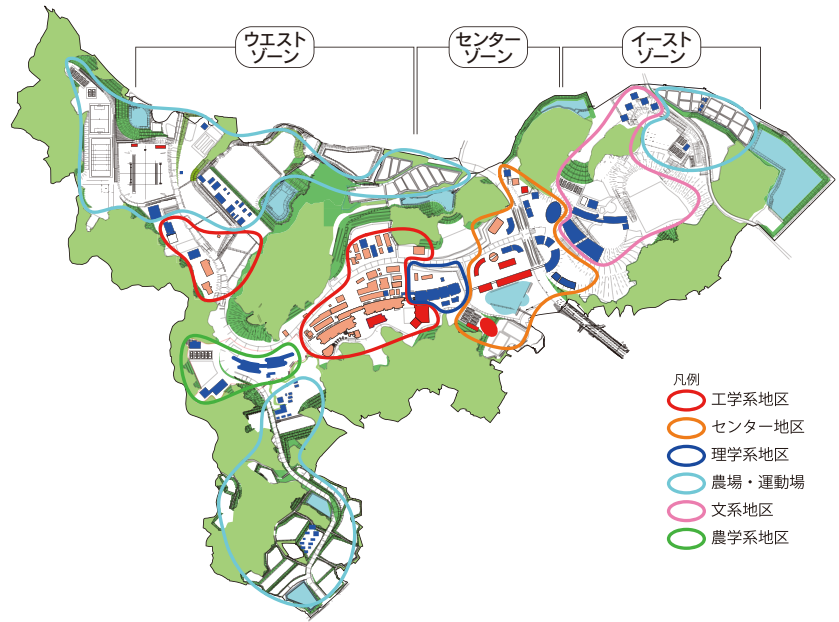


九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

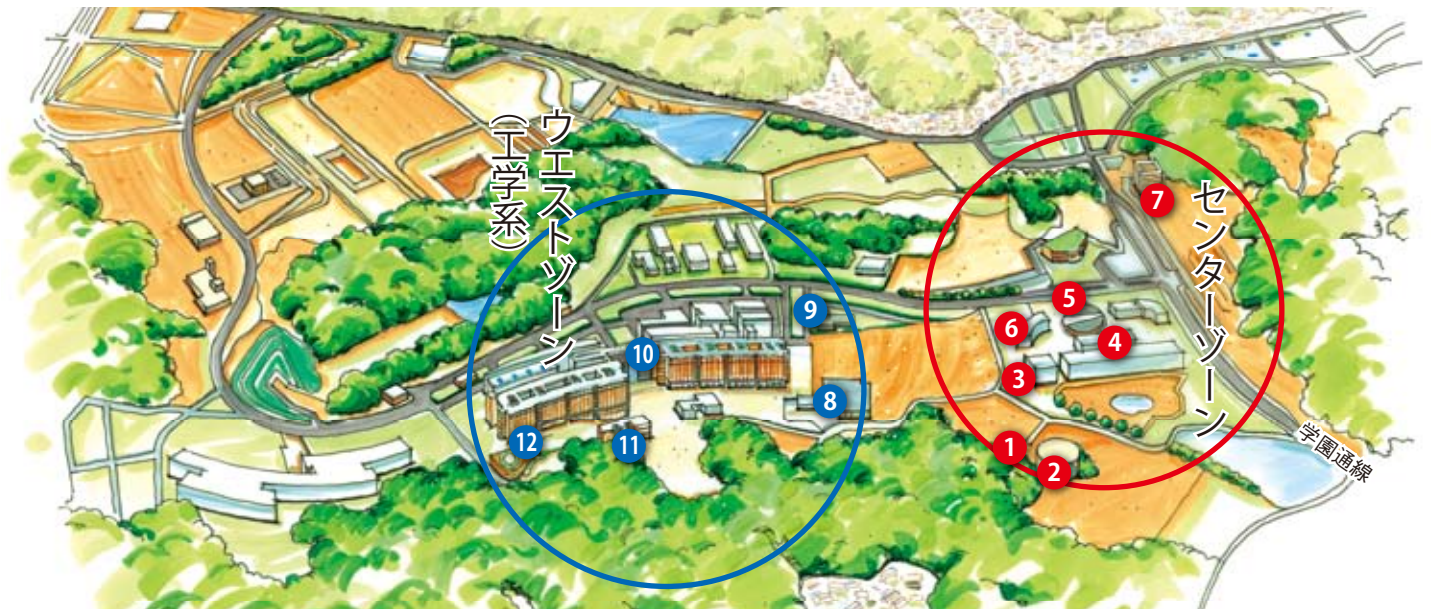
キャンパス計画
伊都キャンパスの建物配置

伊都キャンパスは、福岡市西区元岡・桑原地区、前原市、志摩町にまたがる東西約3km、南北約2.5km、275ヘクタールの広大な敷地を有するキャンパスです。

イーストゾーンには文系、センターゾーンに全学教育施設、ウエストゾーンに理学系・工学系・農学系の施設が整備されます。



- 凡例
- 工学系地区
 - センター地区
 - 理学系地区
 - 農場・運動場
 - 文系地区
 - 農学系地区



①課外活動施設



②総合体育館



③生活支援施設



④全学教育施設



⑤ビッグオレンジ



⑥比文・言文研究教育棟



⑦学生寄宿舍ドミトリ



⑧理系図書館



⑨仮設講義棟



⑩ウエストⅡ・Ⅲ・Ⅳ



⑪西講義棟



⑫生活支援施設ビッグどら

全学教育科目と専攻教育科目

教育課程の概要

九州大学の授業科目は大きく、「全学教育科目」と「専攻教育科目」に分けられます。全学教育と専攻教育とは有機的な連関のもとで、4年（医学部医学科・歯学部・薬学部臨床薬学科は6年）一貫の教育として行われます。このうち各学部・学科ごとに行われる専攻教育は高い専門性を培うことを目的としていますが、全学教育は各学部の専攻教育科目を学ぶ上で共通する基礎的な能力を培うことを目的とするほか、本学の学生にふさわしい教養と知識を身につけることを目的とし、本学の総合大学としての機能を活かす形で、すべての学部・大学院・その他の部局の教員が協力して全学一体となって行われます。

専攻教育科目と全学教育科目については、学部・学科ごとに履修すべき科目や単位数が定められています。このほかに、すべての全学教育科目と他の学部・学科の専攻教育科目（所属する学部・学科によっては一部の場合あり）の中から選択履修する「総合選択履修方式」があります。

平成21年4月から、全学教育は伊都キャンパスで行われ、専攻教育は原則として各学部のあるキャンパスで行われます。

全学教育施設完成予想図



	第1学期 (1年次前期)	第2学期 (1年次後期)	第3学期 (2年次前期)	第4学期 (2年次後期)	第5学期～ (3年次前期以降)
文学部 教育学部 法学部 経済学部 理学部 工学部建築学科 農学部	* 箱崎地区で週1回低年次専攻教育科目を履修			* 箱崎地区で専攻教育科目と週1回全学教育科目を履修	* 箱崎地区で専攻教育科目等を履修
医学部(保健学科除く) 歯学部 薬学部	* 病院地区で週1回低年次専攻教育科目を履修		* 病院地区で専攻教育科目を履修 * 伊都地区で週2回全学教育科目を履修	* 病院地区で専攻教育科目と週1回全学教育科目を履修	* 病院地区で専攻教育科目等を履修
医学部保健学科	* 病院地区で専攻教育科目等を履修(2年次以降)				
工学部(建築学科除く)	* 伊都地区で週1回低年次専攻教育科目を履修			* 伊都地区で専攻教育科目と週1回全学教育科目を履修	* 伊都地区で専攻教育科目等を履修
芸術工学部	* 大橋地区で週1回低年次専攻教育科目を履修		* 大橋地区で専攻教育科目を履修 * 伊都地区で週2回全学教育科目を履修	* 大橋地区で専攻教育科目等を履修	

履修時期・場所

■は伊都地区で履修される全学教育科目の主要な履修時期を示す。

- * 理学部数学科は、平成21年10月に伊都地区に移転予定。
- * 医学部保健学科看護学専攻は、第1学期(1年次前期)は病院地区で週2回低年次専攻教育科目を履修
- * 21世紀プログラムは、指導教員の指導により各人の履修計画が異なる。
- * 工学部(建築学科を除く)は、伊都地区に移転済み。

生活支援施設
ビッグどら

「ビッグどら」は、食堂・喫茶、コンビニ、書店、ATMがある生活支援施設です。パーティーなどにも利用可能なゆとりのスペースを持ち、食堂・喫茶では約50種類のメニューから選べます。天気の良い日には屋上のテラスで食事ができます。

◆食堂・喫茶[三菱電機ライフサービス](1・2階)

座席数 : 室内 743 席, 室外 108 席

営業時間: 8:00 ~ 19:30

◆売店[ローソン](2階)

営業時間: 7:00 ~ 21:00

◆書店[紀伊國屋書店](2階)

営業時間: 10:00 ~ 19:00



生活支援施設完成予想図



センターゾーンに整備する生活支援施設は、食堂・喫茶、コンビニ、ATMと、学生の健康をサポートする「健康科学センター」などが入る複合施設です。健康科学センターでは、一般的な診療に加え、心理健康相談や精神保健相談、健康測定などのサポート体制を整えています。

◆食堂・喫茶[大学生協]

座席数 : 920 席

営業時間: 8:00 ~ 20:30

◆売店[ローソン]

営業時間: 7:00 ~ 21:00

その他、全学教育施設南棟、ビッグオレンジ、理系図書館にカフェやレストラン、書店が整備されます。また、工学系教育研究施設ウエスト2号館には売店が入っており、工学部バス停近くには学生と教職員が気軽に集え、地域住民の交流の場ともなる「アカデミックらんたん」があります。

◆全学教育施設南棟[カフェ・軽食](200席)

営業時間: 8:00 ~ 19:30

◆ビッグオレンジ[レストラン](130席)

営業時間: 11:00 ~ 19:30

◆理系図書館ロビー[カフェ](40席)

営業時間: 11:00 ~ 19:30

◆ウエスト2号館[売店]

営業時間: 7:00 ~ 23:00



ビッグオレンジは、伊都キャンパスを訪れる方へのインフォメーションセンターの役割も担っています。(上)

生活支援施設
センターゾーン

サークル活動等の場
課外活動施設・総合体育館等

フィルハーモニーオーケストラや茶道部、書道部、落語研究会などの文化系サークルと、アメリカンフットボール部、野球部、陸上部、バスケットボール部などの体育系サークルがあり、5,000人を超える学生が日々活動しています。

課外活動施設は、学生がサークル活動を行うための施設であり、伊都キャンパスには4階建ての建物が整備されます。同様の施設は箱崎と大橋キャンパスにも整備されています。

その他、正課授業などにも使われる総合体育館や、多目的運動場、テニスコート、陸上競技場、弓道場などが整備されます。



課外活動施設完成予想図



総合体育館完成予想図



主な課外活動行事

- 九州地区大学体育大会（7月、11月）
全九州地区の国・公・私立大学（短大含む）の学生が参加する学生スポーツの一大祭典。
- 全国七大学総合体育大会〔七大戦〕（7月）
九大、阪大、京大、名大、東大、東北大、北大の旧帝国7大学による伝統の大会。
- 体育祭（10月）
体育系サークル主催でバラエティーに富んだ競技が行われ、約3,000人の学生が参加。
- 九大祭（11月）
大学の学園祭。大橋キャンパスでも行われる。

ドミトリー I・II
生活の場

「ドミトリー I」は、日本人学生・外国人留学生の男女混住型の宿舎として、生活しやすく、学生間の日常的な交流や地域の人たちとの出会い、ふれあいの場となる施設として建設されています。1階には多目的ホール、コインランドリー、身体障害者用居室(2室)を備え、2階から10階までが居室となっています。

平成21年4月に新たに完成予定の「ドミトリー II(242名)」と合わせると496名の学生が居住できます。



	収容人員	1室面積	料 金	主 な 設 備
ドミトリー I	254名(1室1名)	13㎡	寄宿料 18,500円/月 共益費 4,500円/月 (光熱費は個別支払)	机、椅子、本棚、ベッド、下駄箱、収納戸棚、ミニキッチン、エアコン、ユニットバスなど
ドミトリー II	242名(1室1名)	17㎡	寄宿料 25,500円/月 共益費 4,500円/月 (光熱費は個別支払)	

1 今宿・九大学研都市駅
周船寺・田尻・高田地区

最寄りのJR駅がある今宿、九大学研都市駅、周船寺、田尻、高田地区を中心に民間のワンルームマンション、アパート(家賃4万~5万円台)があります。

キャンパスまでの直線距離は約3~5kmですので自転車通学も可能です。

2 前原市街地

標準タイプの学生アパートで家賃は3万~4万円台となっています。キャンパスまでの直線距離は、筑前前原駅で約5km、波多江駅付近から約3kmですので自転車通学も可能です。

筑前前原駅と波多江駅からコミュニティバスも運行しています。

3 糸島郡志摩町市街地

標準タイプの学生アパートで家賃は3万5千円台となっています。キャンパスまでは直線距離で約5kmですので自転車通学も可能です。

天神にはバスで筑前前原駅まで(約20分)行き、JR-地下鉄を利用します。

4 福岡市西区姪浜周辺

標準タイプの学生アパートで家賃は4万5千円台となっています。

JRで九大学研都市駅まで行き、昭和バスに乗り換えて通学することになります。

キャンパスまでは直線距離で約10kmありますので、自転車通学は少しきついでしょう。

5 福岡市早良区西新周辺

標準タイプの学生アパートで家賃は5万円台となっています。

地下鉄-JRで九大学研都市駅まで行き、昭和バスに乗り換えて通学することになります。

キャンパスまでは直線距離で約13kmありますので、自転車通学は少しきついでしょう。

6 その他の地区

西区、早良区以外の福岡市又はその近郊、糸島郡志摩町、二丈町あるいは唐津市なども通学圏として考えられます。

学生アパートの家賃は地区によって様々ですし、通学時間や交通費の負担もかかることとなります。

生活の場
キャンパス周辺の住居事情

福岡空港から

公共交通 **福岡空港** (地下鉄・JR筑肥線) **九大学研都市駅** (昭和バス) ※3
 540円 192円 ※1

博多駅から

公共交通 **博多駅** (地下鉄・JR筑肥線) **九大学研都市駅** (昭和バス) ※3
 510円 192円 ※1

公共交通 **博多駅Aバス停** (西鉄バス [都市高速経由]) **伊都キャンパス**
 650円 ※2

天神から

公共交通 **天神駅** (地下鉄・JR筑肥線) **九大学研都市駅** (昭和バス) ※3
 510円 192円 ※1

公共交通 **天神ソラリアステージ前2Bバス停** (西鉄バス [都市高速経由]) **伊都キャンパス**
 600円 ※2

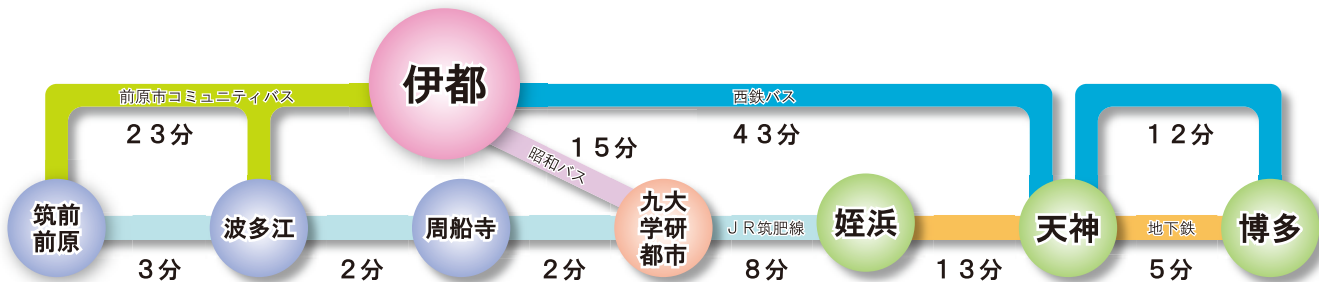
前原から

公共交通 **筑前前原駅** (前原市コミュニティバス) ※4 **伊都キャンパス**
波多江駅 200円

伊都キャンパス
(福岡市西区元岡744)

※ キャンパス内に2カ所バス停あり

- ※1 JR九大学研都市駅と伊都キャンパス間を結ぶ昭和バスの割引回数券(26枚綴/5,000円)の場合の片道運賃です。普通運賃(片道330円)と比べてお得になっています。
- ※2 博多・天神方面からは、西鉄バスの都市高速経由の直行便が運行しており、エコルカード(7,000円/1カ月)の利用も可能です。エコルカードは、福岡都市圏の西鉄グループの路線バスが乗り放題で、通学以外にも利用できます。
- ※3 福岡市営地下鉄各駅からJR九大学研都市駅で下車し、昭和バスに乗り換えて伊都キャンパスまで行く場合は、複合型の便利な回数券「伊都キャンパス回数券(10枚綴/5,000円)」があり、片道運賃500円とお得になっています。
- ※4 JR筑前前原駅や波多江駅から伊都キャンパスの間を結ぶ前原市コミュニティバス(3ルート)が運行されています。





移転スケジュール



時 期	第Ⅰステージ (平成17年度～平成19年度)	第Ⅱステージ (平成20年度～平成23年度)	第Ⅲステージ (平成24年度～平成31年度)
伊都キャンパス への移転	工学系Ⅰ,Ⅱ 理系図書館Ⅰ	全学教育 比較社会文化研究院 言語文化研究院 数理学研究院 理学部数学科 高等教育開発推進セン ター 他 理系図書館Ⅱ	理学系 (H26) 情報基盤研究開発セン ター (H27) 中央図書館 (H29) 文系 (H29, H30) 農学系, その他 (H31)
	用地再取得	平成25年度完了	
伊都キャンパス の総人口	約5,200人	約10,800人	約18,700人

平成21年4月

六本松キャンパスが伊都キャンパスへ移転



編集発行 九州大学広報室
住 所 〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1
電 話 092-642-2106
F A X 092-642-2113
E-mail koho@jimu.kyushu-u.ac.jp
U R L <http://www.kyushu-u.ac.jp/>